

平成26年度事業報告書

自 平成26年 1月 1日
至 平成26年12月31日

平成27年3月

一般社団法人大学監査協会

目 次

[会務の概況]

理事会	1
総 会	2
委員会	3

[活動の概況]

会議、研修会並びに研究会議	8
刊行物	14

[研究成果]	14
--------	----

[事業計画書]	14
---------	----

[会員の増減]	18
---------	----

[平成26年12月31現在の会員名簿]	18
---------------------	----

[役員名簿]	20
--------	----

[委員会委員名簿]	20
-----------	----

【会務の概況】

理事会

- ・ 3月10日 第23回理事会 於：関西大学 東京センター
 - I. 決議事項 第1号 平成25年度事業報告の承認に関する件
第2号 平成25年度決算の承認に関する件
第3号 企画委員会委員、教学監査委員会委員並びに内部監査委員会委員の選任について
 - II. 協議事項 第1号 教学監査の普及・推進活動について
第2号 大学監査における業績に関するアカウンタビリティについて
 - III. 報告事項 第1号 大学監査委員会報告「大学監査の在り方と充実・強化に関する提言」について
第2号 会計・財務委員会報告「大学法人の会計における概念フレームワーク試案と学校法人会計における課題」について
第3号 会計・財務委員会報告「大学法人のディスクロージャーその目的と体系化」について
第4号 内部監査委員会報告「経営のリスク体系・リスクマップ・分野別内部監査留意事項」について
第5号 今後の研究会議等の日程等について
- ・ 6月24日 第24回理事会 於：関西大学 東京センター
 - I. 決議事項 第1号 教学監査の普及・推進活動のための「教学監査懇談会」の設置について
第2号 大学ガバナンス委員会の設置について
 - II. 協議事項 第1号 大学経営を支援する教学監査について考え学ぶワークショップについて
第2号 大学監査における業績の信頼性の保証としての監査の提言について
第3号 内部監査事案研究集について
第4号 大学における内部監査のあり方について
第5号 大学における内部監査報告書モデルについて
第6号 内部監査人養成コース（仮称）について
 - III. 報告事項 第1号 本協会の平成26年度の活動状況並びに今後の研究会議・研修会の開催等について
第2号 『大学監査協会』ニュース 第6号』について
- ・ 10月21日 第25回理事会 於：関西大学 東京センター
 - I. 決議事項 第1号 第10回総会議事次第案について
第2号 教学監査の普及・推進活動について
第3号 監事会議について
第4号 大学内部監査人養成プログラムについて
第5号 大学ガバナンス委員会の設置について
 - II. 協議事項 第1号 平成27年度事業計画案策定に当たっての企画委員会の提案について
第2号 大学監査における業績の信頼性の保証としての監査について
第3号 長期予算管理とディスクロージャーの融合について

- 第4号 内部監査事案研究集について
- 第5号 大学の内部監査におけるコンサルティング・アプローチについて
- 第6号 IT体制に関するアンケートについて

Ⅲ. 報告事項 第1号 本協会の平成26年度の活動状況並びに今後の研究会議・研修会の開催等について

・ 12月 8日 第26回理事会 於：関西大学 東京センター

- I. 決議事項
- 第1号 平成27年度事業計画案について
 - 第2号 平成27年度予算案について
 - 第3号 法人会費改定について
 - 第4号 第11回総会議事次第案について
 - 第5号 委員会委員の委員手当・交通費に関する手当に関する規程の一部改正について
 - 第6号 大学ガバナンス委員会、大学監査委員会、教学監査委員会並びに会計・財務委員会の委員の選任について
 - 第7号 監事会議のあり方について

- II. 協議事項
- 第1号 教学監査基準の普及・推進活動について
 - 第2号 大学監査委員会報告(中間報告)「大学監査における業績の信頼性の保証としての監査の提言」について
 - 第3号 会計・財務委員会報告(中間報告)「長期予算管理とディスクロージャーの融合」について
 - 第4号 内部監査委員会報告(中間報告)「大学法人の健全運営に貢献する大学内部監査の事案研究」について

Ⅲ. 報告事項 第1号 本協会の平成26年度の活動状況について
第2号 IT体制に関するアンケートについて

総会

・ 3月10日 第9回総会 於：関西大学 東京センター

- I. 決議事項
- 第1号議案 平成25年度事業報告の承認に関する件
 - 第2号議案 平成25年度決算の承認に関する件

- II. 協議事項
- 第1号 教学監査の普及・推進活動について
 - 第2号 大学監査における業績に関するアカウントビリティについて

- Ⅲ. 報告事項
- 第1号 大学監査委員会報告「大学監査の在り方と充実・強化に関する提言」について
 - 第2号 会計・財務委員会報告「大学法人の会計における概念フレームワーク試案と学校法人会計における課題」について
 - 第3号 会計・財務委員会報告「大学法人のディスクロージャー—その目的と体系化」について
 - 第4号 内部監査委員会報告「経営のリスク体系・リスクマップ・分野別内部監査留意事項」について
 - 第5号 今後の研究会議等の日程等について

- ・ 12月 8日 第10回総会 於：関西大学 東京センター
- I. 決議事項
 - 第1号議案 平成27年度事業計画案に関する件
 - 第2号議案 平成27年度予算案に関する件
 - 第3号議案 法人会費改定に関する件
- II. 協議事項
 - 第1号 教学監査基準の普及・推進活動について
 - 第2号 大学監査委員会報告(中間報告)「大学監査における業績の信頼性の保証としての監査の提言」について
 - 第3号 会計・財務委員会報告(中間報告)「長期予算管理とディスクロージャーの融合」について
 - 第4号 内部監査委員会報告(中間報告)「大学法人の健全運営に貢献する大学内部監査の事案研究」について
- III. 報告事項
 - 第1号 本協会の平成26年度の活動状況について
 - 第2号 IT体制に関するアンケートについて

委員会

1. 企画委員会

- ・ 2月21日 第1回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項
 - 1. ISO26000 とその普及との関連における当協会の事業展開について
 - 2. 平成26年度魅力ある事業の展開について
- ・ 3月21日 第2回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項
 - 1. ISO26000 とその普及との関連における当協会の事業展開について
 - 2. 平成26年度魅力ある事業の展開について
- ・ 4月 9日 第3回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項
 - 1. ISO26000 とその普及との関連における当協会の事業展開について
 - 2. 平成26年度魅力ある事業の展開について
- ・ 9月19日 第4回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項
 - 1. ISO26000 とその普及との関連における当協会の事業展開について
 - 2. 平成27年度事業計画案の策定に向けた課題について
- ・ 10月10日 第5回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項
 - 1. ISO26000 とその普及との関連における当協会の事業展開について
 - 2. 平成27年度事業計画案の策定に向けた課題について
- ・ 11月10日 第6回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項
 - 1. ISO26000 とその普及との関連における当協会の事業展開について
 - 2. 平成27年度事業計画案の策定に向けた課題について
- ・ 11月19日 第7回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項
 - 1. 監事会議について
 - 2. 平成27年度事業計画案の策定について

2. 大学監査委員会

- ・ 1月29日 第1回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学監査の在り方と充実・強化に関する提言について
2. 業績監査基準の策定について
- ・ 2月27日 第2回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学監査の在り方と充実・強化に関する提言について
2. 業績監査基準の策定について
- ・ 4月24日 第3回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学監査の在り方と充実・強化に関する提言について
2. 業績監査基準の策定について
- ・ 5月28日 第4回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 業績監査基準等の策定について
- ・ 7月14日 第5回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学監査における業績の信頼性の保証としての監査について
- ・ 9月22日 第6回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学監査の効果と課題について
2. 大学監査における業績の信頼性の保証としての監査について
- ・ 10月16日 第7回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学監査の効果と課題について
2. 大学監査における業績の信頼性の保証としての監査について
- ・ 11月6日 第8回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学監査の効果と課題について
2. 大学監査における業績の信頼性の保証としての監査について
- ・ 11月27日 第9回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学監査における業績の信頼性の保証としての監査について
2. 大学監査の効果と課題について

3. 教学監査委員会

- ・ 1月29日 第1回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 教学監査の普及について
- ・ 4月28日 第2回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 教学監査査懇談会（大学経営を支える教学諸活動の合理的な枠組みと運用について考える）について
2. 大学経営を支援する教学監査について学ぶワークショップについて
- ・ 7月14日 第3回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
協議事項 1. 大学経営を支援する教学監査について学ぶワークショップに向けて
(1) ワークショップの時間割

- (2) 教学監査基準と観点
 - (3) 模擬大学の状況
 - (4) 教学監査報告（例）
2. これまで2回実施した教学監査懇談会ででの議論のまとめ

- 9月22日 第4回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 - 協議事項
 - 1. 第1回大学経営を支援する教学監査について考え学ぶワークショップを受けて拡大教学監査懇談会に向けて
 - 2. 第2回大学経営を支援する教学監査について考え学ぶワークショップについて

4. 会計・財務委員会

- 2月3日 第1回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 - 協議事項
 - 1. 大学法人の会計における概念フレームワーク試案と学校法人会計における課題について
 - 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 - 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について
 - 4. 消費税の監査上の対応及び消費税制の今後の展望について

- 2月24日 第2回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 - 協議事項
 - 1. 大学法人の会計における概念フレームワーク試案と学校法人会計における課題について
 - 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 - 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について
 - 4. 消費税の監査上の対応及び消費税制の今後の展望について

- 3月6日 第3回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 - 協議事項
 - 1. 大学法人の会計における概念フレームワーク試案と学校法人会計における課題について
 - 2. 大学法人のディスクロージャー制度の構築（体系的位置づけ）について
 - 3. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について
 - 4. 消費税の監査上の対応及び消費税制の今後の展望について

- 4月4日 第4回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 - 協議事項
 - 1. 監査を通じての資金投下の適切性の尺度について
 - 2. 監査を補助金の評価配分にどうつなげていくかについて

- 4月23日 第5回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 - 協議事項
 - 1. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について
 - 2. 大学のガバナンス改革の推進と業績監査について

- 4月25日 第6回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 - 協議事項
 - 1. 大学のガバナンス改革の推進と業績監査について

- ・ 9月24日 第7回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項
 1. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について
 2. 大学のガバナンス改革の推進と業績監査を通じての資金投下の適切性の尺度について

- ・ 10月15日 第8回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項
 1. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について
 2. 大学のガバナンス改革の推進と業績監査を通じての資金投下の適切性の尺度について

- ・ 11月18日 第9回 於：有限責任監査法人トーマツ 八重洲オフィス
 協議事項
 1. 大学法人における財政改革に向けた大学ガバナンスの一環としての管理会計の導入の検討について
 2. 大学のガバナンス改革の推進と業績監査を通じての資金投下の適切性の尺度について

5. リスクマネジメント委員会

- ・ 1月27日 第1回 於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
 協議事項
 1. 大学経営品質評価基準の策定について
 2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について

- ・ 2月18日 第2回 於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
 協議事項
 1. 大学経営品質評価基準の策定について
 2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について

- ・ 3月18日 第3回 於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
 協議事項
 1. 大学経営品質評価基準の策定について
 2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について

- ・ 4月 7日 第4回 於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
 協議事項
 1. 大学経営品質評価基準の策定について
 2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について

- ・ 7月28日 第5回 於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
 協議事項
 1. 大学経営品質評価基準の策定について
 2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について

- ・ 10月27日 第6回 於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
 協議事項
 1. 大学経営品質評価基準の策定について
 2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について

- ・ 12月12日 第7回 於：早稲田大学 大隈会館 N 棟
 協議事項
 1. 大学経営品質評価基準の策定について
 2. 大学経営モデルの開発（品質マネジメント）について

6. 内部監査委員会

- ・ 1月14日 第1回 於：立命館大学 東京キャンパス
協議事項 1. リスクユニバース、リスクマップの作成について
2. 分野別内部監査の留意事項の策定について
3. 内部監査事案研究集について

- ・ 2月25日 第2回 於：立命館大学 東京キャンパス
協議事項 1. リスクユニバース、リスクマップの作成について
2. 分野別内部監査の留意事項の策定について
3. 内部監査事案研究集について

- ・ 4月4日 第3回 於：関西大学 東京センター
協議事項 1. 内部監査事案研究集について
2. 大学における内部監査のあり方について

- ・ 6月5日 第4回 於：関西大学 東京センター
協議事項 1. 内部監査事案研究集について
2. 大学における内部監査のあり方について
3. 大学における内部監査報告書モデルについて

- ・ 7月2日 第5回 於：関西大学 東京センター
協議事項 1. 大学における内部監査のあり方について
2. 大学における内部監査報告書モデルについて
3. 大学内部監査人養成プログラムについて
4. 内部監査事案研究集について

- ・ 9月25日 第6回 於：関西大学 東京センター
協議事項 1. 内部監査事案研究集について
2. 大学における内部監査のあり方について
3. 大学における内部監査報告書モデルについて
4. 大学内部監査人養成プログラムについて

- ・ 10月23日 第7回 於：関西大学 東京センター
協議事項 1. 内部監査事案研究集について
2. 大学における内部監査のあり方について
3. 大学における内部監査報告書モデルについて
4. 大学内部監査人養成プログラムについて

- ・ 11月26日 第8回 於：関西大学 東京センター
協議事項 1. 内部監査事案研究集について
2. 大学における内部監査のあり方について
3. 内部監査能力養成プログラムについて
4. 内部監査実施要領（仮称）の作成について

7. 広報委員会

- ・ 今年度は開催していない

会議、研究会並びに研修会等

1. 監事会議

- ・ 8月 5日 監事会議 於：早稲田大学 国際会議場
～監事監査の意義とその効果 参加人数 30名

－監事はどうあらねばならないか～

監事に対する意識、監事の役割をどこに求めるのか、監事の監査が不十分だと誰が損をするのかといった論点を踏まえ、当協会が実施した監事監査アンケートの結果から、共通の議論が必要な論点、監事監査のあり方、三様監査の進め方、監事監査の具体的進め方の3論点を議論するなかで、監事監査の有効性向上につなげるためには何をなすべきかをワークショップ形式で協議を行った。

内容 1) 「理事長から見た監事のあり方」

講師：増田 日出雄 氏 (関東学院 理事長)

2) 「監事監査の有効性向上につなげるためのワークショップ」

講師：奈尾 光浩 氏 (有限責任監査法人トーマツ パートナー)

- ・ 11月21日 監事会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～監事監査の意義とその品質の向上～ 参加人数 23名

8月5日の監事会議での議論の結果を受け、再度監事監査のあり方とその進め方について、監事監査の意義、会計監査と監事監査、法改正と監事監査、会社法改正の方向性と監事監査の4論点の論議を通じて、監事監査の有効性向上のために何をすべきかを再度検討するとともに、監事監査の品質の向上に資する協議を行った。

2. 大学マネジメント会議

中央教育審議会における大学ガバナンスの審議、その後の学校教育法の改定を受けて、大学ガバナンスをどのように考えていくかの議論から、当会議を開催するに至らなかった。

3. 教学監査研究会議

教学監査研究会議の形式をとらず、本協会が策定した教学監査基準を用いた教学監査普及の目的として、各大学への教学監査の必要性の認識、普及の雰囲気醸成、教学監査基準の改善のために、各大学の教学担当の副学長クラス（大学経営に携わり、その中で教学諸活動の枠組みと運用に責任をもつ方）を対象とした教学監査懇談会をもち、それを受けて、ワークショップを開催、さらに大学における戦略的経営を促進し、教学監査を普及させる方策を検討するため、まずは戦略的計画作成・運用に関して、日本の先進的の大学に学ぶために、拡大教学監査懇談会をもち、その上で戦略的経営体制構築について学ぶ教学監査ワークショップを開催する形をとった。

- ・ 6月10日 教学監査懇談会（関西） 於：同志社大学 扶桑館
～大学経営を支える教学諸活動の 参加人数 13名
合理的枠組みと運用について考える～

- ・ 6月16日 教学監査懇談会（東京以東） 於：東海大学 校友会館
～大学経営を支える教学諸活動の 参加人数 13名
合理的枠組みと運用について考える～

- ・ 8月 4日 大学経営を支援する教学監査の 於：早稲田大学 国際会議場
思想と手法について考え学ぶワークショップ 参加人数 28名
～教学監査の思想とこれによる大学経営支援の手法を学ぶ～

- ・ 10月27日 拡大教学監査懇談会（東日本） 於：早稲田大学 大隈会館
～戦略的経営の実現法：先進的大学の事例～ 参加人数 8名
- ・ 11月 4日 拡大教学監査懇談会（西日本） 於：同志社大学 扶桑館
～戦略的経営の実現法：先進的大学の事例～ 参加人数 10名
- ・ 12月12日 教学監査ワークショップ 於：上智大学 中央図書館・総合研究棟
～大学の生き残りに必須の戦略的経営の実現と 参加人数 24名
その中での教学監査のあり方～

4. 内部監査研究会議

標記の研究会議の開催とあわせて、内部監査に関するワークショップ並びに大学内部監査能力養成プログラムを設け、大学における内部監査の推進を図った。

- ・ 1月28日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学内部監査の課題克服に向けて 参加人数 38名
文部科学省・中央教育審議会大学分科会組織運営部会における大学のガバナンス改革の推進についての審議の経過、並びに総務省における科学研究費補助金等の適正な使用の確保に関する行政評価・監視の動向を踏まえて、内部監査と関連づけ、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについて協議した。
- ・ 3月 5日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学内部監査の課題克服は何もたらずか～ 参加人数 31名
大学経営上の「真の益」につなげていくためには、大学法人をとりまく税制並びに優遇措置への正しい理解は、事務処理の正確性向上に寄与するばかりでなく、経営基盤強化へ向けた継続的経営改善へ結びつけられることから、監事監査ばかりではなく、内部監査においても、それぞれの視点から監査する必要性が出てくることを踏まえて、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについて協議した。
- ・ 3月27日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～健全な大学には真の内部統制が宿る～ 参加人数 32名
文部科学省が研究機関の責任の明確化や厳罰化によって、不正の防止を求めようとして公表した公的研究費の管理・監査のガイドライン（改正案）を受けて、そのためには、大学にとって真の内部統制とは何かを見極め、その構図を図っていかなければならないことを踏まえ、内部監査と関連づけて、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについて協議した。
- ・ 4月22日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学における健全な風土形成に 参加人数 22名
真の内部統制における IT 統制の位置
今、大学では費用支出の適切性を図る仕組みの構築と支出の説明責任の要求、加えて大学経営の効率化や経営品質の向上への実現などが求められている一方、広がっていく監査対象をどのように見極め、監査内容の高度化にどのように対応し、実効性ある監査の取り組みの推進により、大学経営上の「真の益」につなげていくことを考えなくてはならず、それらに対応するためには、IT ガバナンスが必要にもかかわらず、大学では必ずしも進んでいない現状のなか、IT 統制の構築・整備のための統制環境の充実に向けて、大学にとって真の内部統制とは何かを見極めたうえで、そのありようについて

協議を行った。

- 5月 9日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学の内部監査の今後のあり方～ 参加人数 36名
大学監査のあり方が検討されているなかで、内部監査の究極の目的を再度検討・認識する重要性が高まってきて、そのように広がっていく監査対象をどのように見極め、監査内容の高度化にどのように対応し、実効性ある監査の取り組みの推進により、大学ガバナンスの健全性を確保して、大学経営上の「真の益」につなげていくことを考えなくてはならず、そのためには、大学における内部監査の今後の方向性について協議を行った。
- 5月29日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学にとっての真の内部統制とは～ 参加人数 29名
2回にわたり、内部監査委員会において検討中の内部監査の事案研究を通して、大学監査のあり方が検討されているなかで、内部監査の究極の目的を再度検討・認識する重要性が高まっていることは、準拠目的の監査のみではなく、一步踏み込んで経営改善や大学の価値向上に資する内部監査がより求められてきていることを受けて、大学における内部監査の今後の方向性を探るべく、あわせてその方向性と大いにかかわる大学の内部統制についても協議を行った。
- 6月24日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学にとっての真の内部統制とは～ 参加人数 22名
- 7月17日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学内部監査で何を指すのか～ 参加人数 26名
- 9月18日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学における統制環境の構築～ 参加人数 15名
3回にわたり、実効性ある監査の取り組みの推進により大学経営上の「真の益」につなげるためには、今後、主要な機能となるコンサルティングに視点を置いた内部監査に目を向け、その構築を図っていかなくてはならないとしたうえで、「大学の財務報告にかかる内部統制におけるITの位置」「大学におけるシステム監査のチェックポイント」「大学経営上考えておかなければならないレピュテーション・リスク」と掛け合わせて協議を行った。
- 8月 6日 内部監査に関するワークショップ 於：早稲田大学 国際会議場
～価値を生み出す内部監査の
ブラッシュアップに向けて～ 参加人数 19名
3回にわたるコンサルティングに視点を置いた内部監査協議の間に、コンサルティング・レビューの内部監査に関するワークショップを行い、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査の実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについてグループワークを交えて、大学価値を生み出す内部監査のブラッシュアップに向けた。
- 10月 7日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～乗り越えねばならない大学が抱える監査課題～ 参加人数 26名
今、大学では費用支出の適切性を図る仕組みの構築と支出内容の説明責任の要求、加えて大学経営の効率化や経営寢室の向上への実現などが求められ、重要かつ乗り越えねばならない監査課題として、特殊税制があげられ、大学経営・監査にとって認識・理解もとに対処していかなくてはならず、あわせて避けられず構築していかなければならない大学におけるIT体制について、当協会が実施

した IT 体制に関するアンケート結果をもとに、その乗り越えねばならない 2 課題について大学経営・監査のもとに協議を行った。

- ・ 1 1 月 5 日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～実効性ある監査への展開～ 参加人数 15名
 - ・ 1 2 月 1 日 内部監査研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
1. ～大学内部監査の課題克服に向けて～ 参加人数 39名
 - ・ 1 2 月 1 7 日 内部監査研究会議 於：同志社大学 東京オフィス
～大学経営に資する内部監査の展開～ 参加人数 16名
- 3 回にわたり、内部監査を通じて組織全体の活性化を図るべくミクロからマクロへの展開について、事案研究を通じて各業務に生じている問題点、各部署が抱える問題点の抽出に加えて、組織全体が抱える問題を組織横断的に明らかにし、さらには外部環境の変化とニーズと問題の掘り起しを行うことで組織の活性化を図ることとし、事案に加えて、活発化してきている大学における産学連携・地域連携の活動、会計検査院の検査もその一つである説明責任へのさらなる変革が求められている大学、長期予算を通じた利害関係者とのコミュニケーションによって得られた多くの情報を大学監査に役立てることの意義なども考え、協議を行った。
- ・ 1 2 月 9・16 日（1 月 1 3・2 7 日、3 月 3・2 4 日）6 回 参加人数 6名
大学内部監査能力養成プログラム 於：東京理科大学 森戸記念館

本協会が開発してきた「大学における内部統制に関する基準」「内部統制チェックリスト」「大学の内部監査基準」「内部監査実施の基本手順」等内部監査実施にあたっての有効なツールを参加者が事前に予習したうえでのディスカッション中心の講義を行い、監査要点の抽出や被監査部門に対する質問、問題点の把握と改善案の立案、被監査部門への報告といった内部監査の方法論の基礎を習得するためにロールプレイング等を行って、内部監査人に求められる知識の習得と内部監査遂行の基礎的なスキル習得に務めた。

5. 財政課題研究会議

- ・ 9 月 1 0 日～1 2 日
大学の経営改革に関する研修会 於：下田東急ホテル
～大学の経営改革に管理会計をどう活用していくか～ 参加人数 8名

大学を取り巻く環境の変化のなかで大学の経営改革においても管理会計的思考及び手法を活用していくことは重要で、諸外国では大学をはじめとする公的機関においてかなり活用されていて、今回は事例を用いて、財務の視点からの管理会計的分析をもとに、大学の質保証に寄与し、大学価値を高め、あわせて大学の財務体質をいかに強化していくかについて講師・参加者が討議するワークショップ形式で会議を進めた。

第 1 日は、ものをみる視点の変革と機会をとらえ、論理的思考の入り口として、会計と改革を結ぶものを考えさせるなどを通じて、改革計画の素案の作成に取り組む。

第 2 日は、現実を踏まえ、思考力を鍛えることとし、グループ討議を通じて現在の大学改革に欠けているものは何かをつかみ、管理会計で戦略思考を学び、視野を広げ、時代の流れをつかみ、改革計画素案の修正を試みる。

第 3 日は、改革計画を完成させる。

6. 監査課題研究会議

- ・ 3 月 1 1 日 監査課題研究会議 於：同志社大学 寒梅館
～大学における監査では何が課題か～ 参加人数 38名

大学の監査はいかにあり、それがどのようなことに結びつき、それが大学の発展をいかに促すかを考えていかなければならないし、その行き着くところを外国の例をもって究明することも、日本の大学法人の発展にとって求められ、十分に備えていかなければならない。それらの諸点について協議を行った。

内容 1) 「大学監査のあり方とその確立に向けて

—大学監査の拡充がどうして日本社会の向上につながるのか

講師：百合野 正博 氏（同志社大学 商学部教授）

2) 「日本の大学の情報開示と監査はいかに促進したらよいか」

講師：加藤 正浩 氏（龍谷大学 経営学部教授）

3) 「大学監査制度の課題とその対応」

講師：板戸 史郎 氏（有限責任監査法人トーマツ ディレクター）

・ 4月15日 監査課題研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館

～大学における監査では何が課題か～ 参加人数 14名

広がっていく監査対象をどうとらえ、そのウェイトづけに当たって大学法人にとって何が一番大事であるかを考えなければならず、それらに対応するために、大学の特色・強みを生かした経営・マネジメント改革が不可欠で、大学監査にかかわって実効性をもたらす取り組みをどのように進めていったらよいかに当たって、国の大学連携推進（地域連携推進も含む）の動き並びに教育事業不正の事例を踏まえて、経営並びに監査にかかわる課題の研究、内部監査における実務上の隘路・問題点の発見、監査の実務の方法・監査結果に対する具体的な改善方法等の究明などについて協議を行った。

内容 1) 「産学連携の新しい潮流」（活動の見える化の促進と経営マネジメント）

講師：佐藤 文一 氏（経済産業省 大学連携推進課長）

2) 「教育事業を行っている企業の不正事例とその対応」

講師：南 成人 氏（仰星監査法人 代表社員）

・ 6月 3日 監査課題研究会議 於：同志社大学 至誠館

～明日を拓く大学監査の行くべき途～ 参加人数 34名

課題「明日を拓く大学監査の行くべき途」をどのように探るかということで、大学監査にかかわって実効性をもたらす取り組みをどのように進めていくかに向けて、大学を生かす戦略を考えるに当たり“of management”と“off management”の観点から大学法人における監査は今後どうあるべきかについて討議を行った。

内容 1) 「業績監査も財務諸表も、ともに監査である」

講師：百合野 正博 氏（同志社大学 商学部教授）

2) 「教育の質保証と大学の戦略的経営の要となる教学監査」

講師：工藤 一彦 氏（東京電機大学 学長室特別専任教授）

3) 「日本の大学におけるヴァリュー・フォー・マネー監査の導入

—イギリスにおける大学等教育機関のVFM分析を参考に—

講師：加藤 正浩 氏（龍谷大学 経営学部教授）

・ 7月 8日 監査課題研究会議 於：西南学院大学 大学院大ホール

～大学ガバナンス構築に大学監査が果たす役割 参加人数 36名

大学ガバナンス構築に大学監査が果たす役割を提示し、それを踏まえ、大学監査にかかわって実効性をもたらす取り組みをどのように進めていくかに向けて、大学を生かす戦略を考えるに当たって“of management”と“off management”の観点から大学法人における監査は今後どうあるべきかについて討議を行った。

内容 1) 「監事監査と内部監査との連携

大学におけるガバナンス機能強化のために」

講師：伊藤 龍峰 氏（西南学院大学 商学部教授）

2) 「国立大学法人の監事になって戸惑ったこと」

講師：安高 澄夫 氏（福岡教育大学 監事）

3) 「ユニバーシティ・ガバナンス構築に向けた監査機能の充実・強化」

講師：香野 剛 氏（有限責任監査法人トーマツ パートナー）

4) シンポジウム

- ・ 9月 2日 監査課題研究会議 於：同志社大学 寒梅館
～大学における内部統制の構築を 参加人数 25名
左右する大学監査の進化～

これからの大学はどうあるべきか、それにかかわって大学監査はあるべきで、どうあらねばならないか、その効果と課題な何かを見極めるために、大学監査にかかわって実効性をもたらす取り組みをどのように進めていくかに向けて、大学を生かす戦略を考えるに当たり“of management”と“off management”の観点から討議を行った。

内容 1) 「大学監査の効果と課題

－大学監査のあり方と確立に向けて」

講師：百合野 正博 氏（同志社大学 商学部教授）

2) 「大学の負うアカウンタビリティとディスクロージャー」

講師：松本 祥尚 氏（関西大学 大学院会計研究科教授）

3) 「大学における内部監査の進化

－公認会計士監査の視点からの考察」

講師：寺門 知子 氏（有限責任監査法人トーマツ マネージャー）

4) シンポジウム

- ・ 10月 28日 監査課題研究会議 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学における内部統制はいかにあるべきか 参加人数 49名
－内部監査はどうかかわるか～

大学ではこれから内部統制をどう有効に働かし、それにかかわって大学監査どうあらねばならないか、その効果と課題は何か見極めるため、“of management”と“off management”の観点を踏まえ、大学組織の有効性を生かす統制活動の今後のあり方について討議を行った。

内容 1) 「補助金にかかる会計検査のポイント

会計検査院実施検査をめぐって」

講師：宮田 直樹 氏（日本私立学校振興・共済事業団助成部補助金課課長）

2) 「大学法人における内部統制の再評価」

講師：奈尾 光浩 氏（有限責任監査法人トーマツ パートナー）

7. 監査実務研究会議

本年度は、内部監査研究会議の充実に向けた関係で当研究会議の実施はできなかった。

8. 大学職員管理実務研修会

- ・ 6月 26・27日 大学法人業務の実務研修会 於：東京理科大学 森戸記念館
～大学法人実務を深く理解して応用し、 参加人数 22名
学校運営に生かすための研修～

法人、大学の適正な管理運営を図るためには、監査や牽制機能の強化の前提として、総務、財務、管財、企画、人事など法人・大学の管理運営にかかわる管理職および各業務担当者の実務や判断が法やルールに則り、適正な手続きを経て、正確に執行されることが基本であることはいまでもなく、また、今日の大学法人を取り巻く環境変化に伴い、法人は正確な執行にとどまらず、戦略的な

意思決定も求められるようになってきていることから、大学職員の基礎・基本である業務を的確に執行でき、かつ戦略的な思考力量を備えた職員の育成に向けて、法人・大学の管理運営実務の基礎を養うとともに、力量アップを図ることを目指して、この研修を行った。

内容 第1日目（6月26日）

- 1) 「大学監査と財務報告」
講師：伊藤 嘉基 氏（永和監査法人 代表社員）
- 2) 「大学改革に必要なスタッフの育成」
講師：加用 久男 氏（野村総合研究所 元常務取締役）

第2日目（6月27日）

- 1) 「大学の質保証システムの構築と管理運営」
講師：工藤 潤 氏（大学基準協会 事務局長、大学評価・研究部長）
- 2) 「中長期経営計画の実現に向けて」
講師：片山 英治 氏（野村証券 金融公共公益法人部 主任研究員）
- 3) 「大学におけるガバナンス」
講師：井原 徹 氏（実践女子学園 理事長）

刊行物

・大学監査協会ニュース No.6

【研究成果】 平成26年度（自：平成26年1月1日 至：平成26年12月31日）

1. 大学監査の在り方と充実・強化に関する提言
2. 大学法人の会計における概念フレームワーク試案と学校法人会計における課題
3. 大学法人のディスクロージャー
4. 分野別内部監査実施上の留意点
 - ・大学経営のリスク体系
 - ・リスクマップ
 - ・リスク発生可能性・影響度測定表
 - ・分野別内部監査留意事項

【事業計画書】（平成26年度）

当協会の設立趣旨に鑑み、教育研究の質を担保する「大学法人の経営の質の向上」に必要なガバナンスの強化と経営の透明性の向上に資するべく、下記を基本方針として事業を計画する。

1. 大学における監査および関連する諸分野についての理論及び実務の研究の推進
2. 大学における監査に携わる監事、内部監査担当者および会計監査人による監査の質とその実効性の向上、および三者の交流の促進と専門的能力の向上
3. 大学監査体制の強化・充実のための大学監査に関する指針の作成と知識の普及

上記の基本方針を踏まえ、下記の3課題（中長期事業計画）への取り組みの中で、「社会的責任に関する手引き：IS026000 (Guidance for social responsibility)」を大学との関連を明確にしながら、組織の価値向上に資する監査をいかに確立するかを踏まえ、平成26年度の事業計画を推進する。

1. 大学監査の実態の把握、実務への導入推進への取り組み、実践化に向けての支援
2. 大学監査の質向上
3. 大学監査の質保証

I. 三様監査の実効性の向上のための研究会議の実施

監事、内部監査担当者および会計監査人による三様監査の実効性の向上を目的として、監事会議、大学ガバナンス会議、教学監査研究会議、内部監査研究会議、財政課題研究会議、監査課題研究会議並びに大学職員管理運営実務研修会について企画・立案し、実施するとともに、三様監査に直接関連する重要な法令や通達について解説の機会を設ける。

1. 監事会議

大学法人が持続的に発展していくためには監査機能を駆使していかなければならない。本会議は、監事を対象に、監査の質の向上をめざし、その上で監事としての職責を果たし、監査の理論並びに実務上の隘路・問題点等、監査業務に関する必要な知識の習得、多様な監査体験の共有、あわせて監事相互の情報・意見の交流を目的として開催する。その際、平成25年度に策定した「大学監査の在り方と充実・強化に関する提言」等を活用する。

以上のことを推進するため、年間2回（6月下旬、10月中旬）に会議を開催する。

2. 大学マネジメント会議

本会議は、理事長、学長、理事（総務・教務・財務等）、監事、内部監査担当者、経営企画担当者等並びに会計監査人など、大学法人の監査を担う責任者を対象に、大学監査の前提である大学法人経営の在り方（ガバナンスの在り方、マネジメントの導入その他）が監査に耐えうるようにするために、大学法人の監査機能を十全に果たすための人と組織等のあり方を討議し、ユニバーシティ・ガバナンスの強化に資することを目的として開催する。その際、大学改革実行プラン、中央教育審議会答申（大学監査にかかわる）を射程に置きながら、これまで策定した教学監査基準、内部統制基準並びに大学経営機能評価等を活用する。

以上のことを推進するため、年間3回（1月下旬、3月下旬、7月下旬）に会議を開催する。

3. 教学監査研究会議

本会議は、理事あるいは副学長等で教学の実質的な責任担当者、内部監査担当者、経営企画担当者、教育改革担当者等を対象に、教学監査の役割の啓蒙と、教学監査の普及・推進を目的として、大学経営における監査体系の役割と、その中での教学監査の位置付け、これらを踏まえた教学監査方針、および具体的な監査基準の内容を示した上で、現時点での普及上の問題点とその克服について分析・討議するために開催する。その際、平成24年度に作成した教学監査基準と解説、チェックリスト等についての理解を得る取り組みを合わせて行う。年間3回（7月下旬、9月中旬、11月下旬）の会議を開催する。

4. 内部監査研究会議

本会議は、内部監査担当者を対象に、①内部監査担当者に求められる資質の研究、②内部監査の理論と実務の体系的な講習、③経営並びに監査にかかわる課題の研究、④内部監査の実務上の隘路・問題点等の発見・解決、⑤監査実施の方法、監査結果に対する具体的な改善方法などの究明、⑥内部統制を基軸とする内部監査の進め方、⑦内部監査人として知っておくべき重要課題の把握などを、内部監査基準、内部監査実施の基本手順、内部監査実施のフローチャート、内部監査実施プロセスのチェックリストを通して、内部監査担当者並びに監事スタッフ相互の情報・意見の交流を目的として開催する。その際、本協会が作成した内部監査基準、チェックリスト等大学の内部監査の枠組みについての理解を得ることを目指すとともに、WHAT型思考からWHY型思考へ仮説立案力と仮説検証力を磨くフレームワーク思考の実習を通じて内部監査スキルの一つである問題解決手法を学ぶ取り組みを合わせて行う。

以上のことを推進するため、年間8回（1月下旬、3月下旬、5月下旬、7月下旬、9月上旬、10月中旬、11月中旬、12月上旬）の会議を開催する。

5. 財政課題研究会議

大学を取り巻く環境の変化に対応するための経営改革、特に財政改革の必要性から、現行の大学法人に

かかわる会計基準を踏まえた問題点・課題等の解決、大学経営の現実を厳しい目で冷徹に見て問題点を発見する訓練、その対策を徹底的に考え抜く力の養成、リーダーシップを発揮して必要な改革をやり抜く力を身につけるために、監事、財務・企画担当の理事、内部監査担当者、財務担当者、経営企画担当者等を対象として、その力量向上を目指す。財務会計ばかりでなく、各大学の大学としての組織の基本的特性を把握した上で、改革に導く管理会計手法を実践的に学んで活用できることが必要であり、大学経営機能評価などを活用しつつ、そのトレーニングを行う。これらを通して、大学のガバナンスの強化とサステナビリティに資することを目的に本会議を開催する。

以上のことを推進するため、年間4回（6月上旬、7月中旬、9月中旬、11月上旬）の会議を開催する。

6. 監査課題研究会議

本会議は三様監査を進める上での問題点・課題について研究し、討議する。その際、これまでの各委員会での検討内容を参考に活用する。

以上のことを推進するため、年間6回（3月中旬、6月上旬、7月中旬、9月中旬、11月上旬、12月中旬）の会議を開催する。

7. 監査実務研究会議

監査実務上の様々な問題点および疑問点について分析・討論を行うとともに、各法人における監査事例について輪番で報告・発表するほか、監事監査、内部監査、会計監査人監査に関連した個別テーマについて監査手法、連携等について研究する。

以上のことを推進するため、4か月に1回程度の東部地区と西部地区において2回ずつ会議を開催する。

8. 大学職員管理運営実務研修会

法人、大学の適正な管理運営を図るためには、監査や牽制機能の強化の前提として、総務、財務、管財、企画、人事など法人・大学の管理運営にかかわる責任者および各職員組織の実務や判断が法やルールに則り、適正な手続きを経て、正確に執行されることが基本である。そのためには学校教育法や私立学校法など各種関連法規にもとづく理事会や評議員会の位置づけや役割、寄付行為や学則をはじめとする法人・大学の基本規程の位置づけや意味を正確に理解し、業務を的確に執行できる職員の育成が不可欠である。

日常の実務は、どうしても前例踏襲のルーチンに陥りがちであるので、今後は常に「適正な執行」に立ち返る思考を定着させるトレーニングをすることにより、法人・大学の管理運営実務の基礎とその基本姿勢を養うとともに力量アップを図ることとする。この力量は法人・大学すべての職員共通に必要であり、こうした力量を備えた人材を計画的に育成していくことが各大学法人において求められている。本研修会では、法人・大学での業務に関して経験が少ない方、企業等から転職されてきた方なども含め、実際の業務に応用していただける内容で構成する。

以上のことを踏まえ、上記の研修会を7月上旬、9月上旬にそれぞれ2日間にわたり開催する。

II. 機関誌その他の図書の刊行

大学監査に携わる関係者に対する情報提供および監査に関連した報告書等、監査事例の紹介、等を掲載した本協会の機関誌およびその他刊行物を刊行する。

III. 大学経営の質向上にかかる研究

大学監査の機能の充実およびその質の保証を通じて、大学経営の質の向上が図られるよう、大学における監査システムおよびそのあり方等について研究する。監査のポイントは、重大なリスクに対応する適切な統制が業務に組み込まれているか、そしてそれがいかに機能しているかである。したがって、以下の7委員会において、これまでの研究結果に基づき、さらに監査に関する指針、関係各界への建議または答

申等をとりまとめる。また、各委員会間の交流を図り、研究成果の体系性を目指す。

1. 企画委員会

- (1) 当協会の事業運営のあり方を協議し、その結果を理事会に提示する。
- (2) 各種委員会の検討内容の調整を行うとともに、各研究会議および研究会の企画内容についても検討を行う。
- (3) 次年度の事業計画案を策定する。
以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

2. 大学監査委員会

- (1) 大学法人の健全な維持・発展のための監事の役割・責任を果たすために、監事監査・内部監査・会計監査人監査の連携を考慮に入れ、大学監査のあり方を研究する。
- (2) 大学法人における監事監査基準、監事監査マニュアル、監事監査計画、監事監査調書、監事監査チェックリストをもとに作成した「大学法人における監事監査の強化・充実に関する指針」の推進、並びに「大学監査の在り方と充実・強化に関する提言」等の研究をさらに深化させる。その後、監事監査の品質管理基準の策定を試みる。その際、提言に盛り込まれている業績監査に関する基準の策定を行う。
以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

3. 教学監査委員会

- (1) 大学法人が設置する大学の教学部門における教学諸活動に関する事項について、教学諸活動の質保証と、それらによる大学の戦略計画達成の視点から、そのあるべき姿と、その達成のために教学監査に求められる機能を明確にする。このためには本協会内で、大学経営のあるべき姿と、その中での内部監査、監事監査と教学監査の位置付け・役割分担についての検討を実施し、その結果を踏まえて教学監査基準を見直し、修正を行う。
- (2) 平成24年度に作成した教学監査基準と解説、チェックリスト、及び上記の見直し・修正を踏まえて、同基準に沿って教学監査を普及させる際の問題点の抽出と普及の手順について検討する。具体的には、①教学監査の実務担当者による仮想的監査の実施、および教学監査研究会議等でのワークショップを通じた教学監査の適用体験、等を通じた教学監査基準の実質化、②大学経営層に対する教学監査の意義と必要性の啓蒙、の2つの方針を軸とした普及活動を実施する。
以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

4. 内部監査委員会

- (1) 平成24年度に作成した大学法人における内部監査の定義、大学内部監査人に求められる資質、内部監査基準、内部監査実施の基本手順、内部監査実施のフローチャート、内部監査実施のチェックリストをもとに、経営リスク体系、リスクマップ、リスク発生可能性・影響度測定表並びに分野別内部監査留意事項等をさらに研究し、深化させるとともに、大学内部監査実施要領を作成する。
- (2) 大学内部監査の実質化をはかるため、内部監査員の派出支援事業の展開並びに大学内部監査事案研究集の作成を推進する。
以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

5. 会計・財務委員会

- (1) 会計監査を中心に、大学法人における財務報告の信頼性と経営の透明性の向上にかかわる会計・財務に関する事項について研究する。
- (2) 大学法人における会計の今後のあるべき方向性とそれに関わる諸問題について、管理会計の視点をも含めて研究する。
- (3) 諸外国における大学法人を取り巻く税制について研究するとともに、大学法人を取り巻く喫緊の課題の一つとしての消費税法の改正と監査上の対応及び消費税制の今後の展望について検討を行う。

- (4) 大学監査としての業績監査におけるリスク体系の整理と業績測度の策定を行う。
- (5) ISO26000 及び GRI ガイドライン(サステナビリティ・レポート・ガイドライン)等を取り入れた社会的責任にかかるあるべき大学法人の情報開示について研究する。
以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

6. リスクマネジメント委員会

- (1) 大学が抱えているリスクを洗い出し、評価し、リスクの多様化に対応するために、一般企業において導入している ERM (Enterprise Risk Management) の大学への活用も含めて、大学自立のための評価と教育研究の持続的発展の視点からリスクマネジメントについて深化をはかるとともに、各大学法人のガバナンス強化のために、作成中の「大学経営品質評価基準」を研究し、大学経営モデルの開発を行う。
以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

7. 広報委員会

- (1) 機関誌「大学サステナビリティ研究」並びに「大学監査協会ニュース」を通じ、三様監査のありよう、実務等に関する幅広い情報を会員各法人及びその担当者に提供する。
- (2) 本協会ホームページ等を通じた広報活動の拡充を図る。
以上のことを推進するため、委員会を逐次開催する。

IV. 内部統制システムを含む監査体制のデザイン及び助言・指導

健全な内部統制システムの構築と維持は、三様監査の実をあげるための前提条件であり、大学法人のガバナンスを強化するために不可欠であるが、それは個々の大学法人の実情にあわせてデザインされなければならない。上記「I」および「II」における研究結果および検討成果に基づき、大学法人における内部統制システムの構築と維持に必要な助言・指導を行い、監査体制のデザインの進め方についてアドバイスする。

【会員の増減】

	入・退会の状況			
	平成25年度	平成26年度	入会	退会
法人	124	130	7	1
個人	13	13	2	2
計	137	142	9	3

【平成26年12月31日現在の会員名簿】

法人会員					
1	愛知大学	51	順天堂	101	白鷗大学
2	青山学院	52	城西大学	102	兵庫医科大学
3	麻布獣医学園	53	上智学院	103	広島女学院
4	亜細亜学園	54	昭和女子大学	104	福岡工業大学
5	あずさ監査法人	55	真宗大谷学園	105	福岡大学

6	跡見学園	56	新日本有限責任監査法人	106	藤田学園
7	幾徳学園	57	駿河台大学	107	佛教教育学園
8	茨城キリスト教学園	58	聖学院	108	文京学園
9	岩手医科大学	59	成蹊学園	109	文教大学学園
10	梅村学園(中京大学)	60	清泉女子大学	110	法政大学
11	永和監査法人	61	西南学院	111	松山大学
12	追手門学院	62	聖マリアンナ医科大学	112	宮城学院
13	大阪学院大学	63	清稜監査法人	113	民間外交推進協会
14	大阪産業大学	64	専修大学	114	武庫川学院
15	学習院	65	梅檀学園(東北福祉大学)	115	武蔵野美術大学
16	神奈川大学	66	創価大学	116	名桜大学
17	関西医科大学	67	園田学園	117	明治学院
18	関西大学	68	大正大学	118	明治大学
19	関西学院	69	大東文化学園	119	名城大学
20	関東学院	70	太陽 ASG 有限責任監査法人	120	明星学苑
21	北里研究所	71	拓殖大学	121	桃山学院
22	京都学園	72	中央大学	122	山梨英和学院
23	京都産業大学	73	中部大学	123	有限責任監査法人トーマツ
24	京都女子学園	74	津田塾大学	124	立教学院
25	京都精華大学	75	鶴学園(広島工業大学)	125	立正大学学園
26	京都橘学園	76	帝京大学	126	立命館
27	京都薬科大学	77	帝塚山学園	127	龍谷大学
28	近畿大学	78	天理大学	128	早稲田大学
29	金城学院	79	東海大学	129	渡辺学園
30	久留米大学	80	東京医科大学	130	和洋学園
31	敬心学園	81	東京家政学院		
32	恵泉女学園	82	東京経済大学		
33	県立広島大学	83	東京女子医科大学		
34	光華女子学園	84	東京電機大学		
35	高知工科大学	85	東京理科大学		
36	甲南学園	86	同志社	個人会員	
37	神戸学院	87	東北学院	1	安倍 潤
38	神戸女学院	88	東北文化学園大学	2	植木 實
39	國學院大學	89	東洋英和女学院	3	内野 直忠
40	国際基督教大学	90	東陽監査法人	4	大田 修
41	国際総合研究所	91	東洋大学	5	大塚 宗春
42	国際武道大学	92	獨協学園	6	奥島 孝康
43	国土館	93	トヨタ学園	7	梶間 栄一
44	産業能率大学	94	南山学園	8	菊地 裕明
45	慈恵大学	95	日通学園	9	月田 陽子
46	静岡文化芸術大学	96	日本医科大学	10	中野 淑夫
47	実践女子学園	97	日本工業大学	11	西野 芳夫
48	芝浦工業大学	98	日本女子大学	12	八田 英二
49	修道学園	99	根津育英会武蔵学園	13	松本 香
50	秀明学園	100	ノートルダム女学院		

【役員名簿】（平成26年12月31日現在）

会 長（理事）	奥 島 孝 康	白鷗大学	大学長
副会長（理事）	佐 伯 弘 治	日通学園	学園長
〃（理事）	八 田 英 二	同志社	前理事長・大学長
理 事	赤 松 徹 真	龍谷大学	大学長
〃	池 内 啓 三	関西大学	理事長
〃	伊 藤 智 文	日本監査役協会	元専務理事
〃	衛 藤 卓 也	福岡大学	大学長
〃	小 川 秀 興	順天堂	理事長
〃	鎌 田 薫	早稲田大学	総長
〃	高 祖 敏 明	上智学院	理事長
〃	重 松 博 之	会計検査院	顧問
〃	鈴 木 典 比 古	国際教養大学	理事長・大学長
〃	関 谷 登	東北学院	常任理事
〃	長 田 豊 臣	立命館	理事長
〃	ハス ユーゲン・マルクス	南山学園	理事長
〃	日 高 義 博	専修大学	理事長・大学長
〃	平 尾 光 司	昭和女子大学	学事顧問
〃	藤 井 清 孝	北里研究所	理事長
〃	吉 岡 博 光	東京女子医科大学	名誉理事長
監 事	大田原 真 美	民間外交推進協会	アドバイザー
〃	松 本 香	公認会計士	

【委員会委員名簿】

（企画委員会）

委員長	西 野 芳 夫	（関東学院大学 名誉教授）
委 員	植 草 茂 樹	（農林漁業成長産業化支援機構 投融資本部統括部長）
〃	工 藤 一 彦	（東京電機大学 学長室特別専任教授）
〃	鈴 木 康 洋	（弁護士）
〃	奈 尾 光 浩	（有限責任監査法人トーマツ パートナー）
〃	西 川 幸 穂	（立命館 人事部長）

（大学監査委員会）

委員長	百合野 正 博	（同志社大学 商学部教授）
委 員	大 熊 俊 也	（新日本有限責任監査法人 シニア）
〃	鈴 木 康 洋	（弁護士）
〃	原 秀 敬	（新日本有限責任監査法人 シニアパートナー）
〃	星 野 雄 滋	（有限責任監査法人トーマツ パートナー）
〃	南 成 人	（仰星監査法人 副理事長）
〃	山 口 更 織	（有限責任監査法人トーマツ パートナー）

（教学監査委員会）

委員長	工 藤 一 彦	（東京電機大学 学長室特別専任教授）
委 員	大 熊 俊 也	（新日本有限責任監査法人 シニア）

委員 工藤 潤 (大学基準協会 事務局長 大学評価・研究部長)
 // 鳥山 恭一 (早稲田大学 大学院法務研究科 教授)
 // 百合野 正博 (同志社大学 商学部教授)
 // 吉岡 俊正 (東京女子医科大学 理事長)

(内部監査委員会)

委員長 山田 晃 (立命館 研究部次長)
 委員 赤池 知広 (新日本有限責任監査法人 マネージャー)
 // 池田 幸一 (早稲田大学 調査役)
 // 牛嶋 洋一 (立教学院 内部監査室長)
 // 久米 伸之 (神奈川大学 前内部監査室長)
 // 古閑 宣仁 (東京理科大学 前監査室長)
 // 長森 均 (東海大学 財務課長)
 // 森 泰文 (有限責任あずさ監査法人 マネージャー)
 // 森谷 博之 (有限責任監査法人トーマツ シニアマネージャー)
 // 両角 晋一 (芝浦工業大学 監査室長)
 // 山本 雅和 (昭和女子大学 監査室長)

(会計・財務委員会)

委員長 岡村 勝義 (神奈川大学 経済学部教授)
 委員 伊藤 嘉基 (永和監査法人 代表社員)
 // 大柳 康司 (専修大学 経営学部教授)
 // 杉崎 正彦 (國學院大學 財務部長)
 // 根本 和彦 (津田塾大学 総務課長)
 // 松本 香 (公認会計士)
 // 山口 更織 (有限責任監査法人トーマツ パートナー)

(リスクマネジメント委員会)

委員長 浅古 弘 (早稲田大学 法学学術院 (法務研究科) 教授・監査室長)
 委員 小出 康之 (立教学院 常任監事)
 // 早乙女 徹 (芝浦工業大学 常務理事・事務局長)
 // 奈尾 光浩 (有限責任監査法人トーマツ パートナー)
 // 吉川 高史 (新日本有限責任監査法人 パートナー)
 // 吉澤 正幸 (東海大学 監査室長)

(広報委員会)

委員長 西川 幸穂 (立命館 人事部長)
 委員 萩 慎太郎 (國學院大學 総合企画部広報課主任)
 // 内藤 均 (早稲田大学 研究推進部事務副部長・産学官研究推進センター課長)
 // 山内 憲男 (東京家政学院 中学高等学校事務室長)